

団体名		一般財団法人武蔵野市開発公社				
①	指標名	まちづくり事業の拡充			目標値	まちづくりに関わる新たな事業展開及び既存事業のブラッシュアップ
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	○	○	○	25年度チャレンジマルシェ事業、26年度吉祥寺デッキ事業、27年度フリーWi-Fi事業	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し		
	設定理由等	法人移行をした際の定款の趣旨であるまちづくり事業を、武蔵野市のまちづくりにおける公社の立ち位置として確立する。				
業	取組	①長期経営計画に基づく事業のうち、中期で取り組む事業の新たな展開を図るとともに、既存事業をブラッシュアップし、まちづくり事業の充実と定着を目指す。 ②まち場が期待するニーズを的確に把握して、公社に期待されることに柔軟に対応し、公社の信頼・存在意義の認識を高めていき、更なる新たな事業展開に結びつけることを目指す。				
	内容					
②	指標名	収益基盤の安定と財政力の充実			目標値	1,388,193 千円
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 千円)	1,323,398	1,344,042	1,401,926	安定して継続的な賃料収入の確保	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(4) 団体職員の人材育成と財務基盤の見直し		
	設定理由等	リファイナンス及び設備投資のための資金調達に伴い、41.9億円の長期債務を有しており、経営のスリム化を図るうえでは、収益の強化及び費用の抑制は引き続き課題である。				
務	取組	①収益の大半を占めるFFビルの収益増に向けては、29年3月に予定している全館リニューアルを成功に導けるよう、ビルオーナーとして権利者やディベロッパーと連携して、MD計画及びテナント誘致に取り組むとともに、施設内外の設備改善を進め、賃料収益の増加に結び付ける。 ②長期負債リスクを軽減するため、可能な限り繰り上げ償還を実行し、債務のスリム化を進める。				
	内容					
③	指標名	組織体制及び人材育成			目標値	長期経営計画に基づく組織体制の確立及び人材育成
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)				新たな指針によるもの	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	長期経営計画に基づき、将来にわたり持続可能な組織運営を確立するための体制の構築及び人材育成を実践する。				
部	取組	①職員適正化計画に基づく、新規採用計画の策定する。 ②社外人材を活用したまちづくり業務に関する経験の付与による人材育成を実施していく。				
	内容					
管	取組					
	内容					